



第3回浜松地区精神保健福祉士等 連携勉強会



- ☆精神保健、精神医療、障害福祉の政策、制度が目まぐるしく変化していく昨今、日頃の業務に追われて知識や情報が後追いになっていませんか？
- ☆ソーシャルワーカーにとって重要な「連携」「ネットワーク作り」を意識しながら日頃の業務ができていますか？
- ☆事業所や機関、個人として、業務に悩みや不安、寂しさを抱えていませんか？

そんな様々な課題を精神保健福祉士たちで共有し、最近の精神保健・医療福祉の動向、制度・政策を知る機会や情報交換の場として、浜松地区精神保健福祉士等連携勉強会を立ち上げ、第3回目の開催となります。

参加対象は、精神保健福祉士のほか、精神保健医療福祉に携わる方ならどなたでも参加可能なオープンな会にします。浜松地域の精神保健・医療福祉がより活発化し、ネットワークづくりの場となり、地域全体が元気になるような会にしていきたいと思えます。



<第2回のご報告>

「平成26年度の改正精神保健福祉法、診療報酬改定の取り扱い説明書」
～精神保健医療福祉の改革ビジョンから10年を経て～

好生会三方原病院の佐藤弘績さんからは精神科の診療報酬改定について、精神保健福祉センターの岡本加寿子さんからは、改正精神保健福祉法についてお話ししていただき、その後、グループワークを行いました。70名を超える参加がありました。ありがとうございました。

この勉強会では、研修で取り上げてほしいことを参加者の皆さんからもアイデアをいただき、企画運営しています。日頃の業務で課題と感じていること、学んでみたいことなどがあったら、当日配布するアンケートにご記入ください。より良い連携がとれる地域となるように、顔の見える関係作りに繋がる研修にしていきたいと思えます。

<第3回企画>

「地域での支援を『連携』をテーマに考える」

～みんなで支えりゃ鬼に金棒？～

この数年、精神障害者の医療、福祉を取り巻く政策は「地域」が強く意識されており、地域移行支援、地域定着支援等が取り組まれています。また、委託を受けた相談支援事業所が、地域の中で障害や福祉の相談を担う役割としての機能を求められています。「地域」を意識した時には、医療や福祉だけでなく、地域の住民や学校、障害福祉以外で、地域包括支援センターや、ケアマネージャーなど、他領域との連携も必要になる場合があります。今回は、障害者相談支援事業所からの事例を提供していただき、各々の仕事、立場から『連携』について考える機会にします。

日 時 平成 26 年 12 月 5 日（金） 19：00～21：00

(1) 19：00～19：45 話題提供 (2) 19：50～20：40 グループ

(3) 20：40～20：50 全体共有 (4) 20：50～21：00 情報提供など

場 所 浜松市福祉交流センター 大会議室（中区成子町 140 - 8）

話題提供者 岸 直樹さん（障害者相談支援事業所だんだん）

参加対象 精神保健福祉士ほか、精神保健・医療・地域福祉に携わる方

参加料 300 円（170 円は会場費等、130 円は事業所の自主製品の購入に充てます）

運営組織 静岡県精神保健福祉士協会 浜松地区

申し込み方法（所属機関、連絡先、参加者氏名、職種を明記し F A X で）

締め切り日：11月28日（金）

◇送信先 神経科浜松病院 白柳宛て F A X 053-454-5353

所 属 機 関		連 絡 先	
氏 名		職 種	
氏 名		職 種	
氏 名		職 種	
氏 名		職 種	
氏 名		職 種	

※当日、情報提供などがある方は、必要資料を 80 部程度ご用意のうえご参加ください。開始前に各自で配布してください。